

使用上の注意改訂のお知らせ

2026年9月

沢井製薬株式会社

小腸コレステロールトランスポーター阻害剤／
HMG-CoA還元酵素阻害剤配合剤

処方箋医薬品

エゼチミブ・ロスバスタチンカルシウム配合錠

エゼロス[®]配合錠LD「サワイ」エゼロス[®]配合錠HD「サワイ」

この度、下記のとおり使用上の注意を改訂致しますので、お知らせ申し上げます。

1. 改訂内容（下線部改訂又は追加箇所）

改 訂 後	改 訂 前															
10. 相互作用 ロスバスタチンは、OATP1B1及びBCRPの基質である。 10.2 併用注意(併用に注意すること) <table><tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr><tr><td>ベルモスジル</td><td>ロスバスタチンとベルモスジルの併用したとき、ロスバスタチンのAUC_{0-last}が4.62倍、C_{max}が3.59倍上昇したとの報告がある³⁾。</td><td>ベルモスジルのBCRP及びOATP1B1阻害作用により、ロスバスタチンの血中濃度が上昇する可能性³⁾がある。</td></tr><tr><td>モメロチニブ</td><td>ロスバスタチンとモメロチニブの併用したとき、ロスバスタチンのAUC_{inf}が2.7倍、C_{max}が3.2倍上昇したとの報告がある⁴⁾。</td><td>モメロチニブのBCRP阻害作用により、ロスバスタチンの血中濃度が上昇する可能性⁴⁾がある。</td></tr></table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	ベルモスジル	ロスバスタチンとベルモスジルの併用したとき、ロスバスタチンのAUC _{0-last} が4.62倍、C _{max} が3.59倍上昇したとの報告がある ³⁾ 。	ベルモスジルのBCRP及びOATP1B1阻害作用により、ロスバスタチンの血中濃度が上昇する可能性 ³⁾ がある。	モメロチニブ	ロスバスタチンとモメロチニブの併用したとき、ロスバスタチンのAUC _{inf} が2.7倍、C _{max} が3.2倍上昇したとの報告がある ⁴⁾ 。	モメロチニブのBCRP阻害作用により、ロスバスタチンの血中濃度が上昇する可能性 ⁴⁾ がある。	10. 相互作用 ロスバスタチンは、OATP1B1及びBCRPの基質である。 10.2 併用注意(併用に注意すること) <table><tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr><tr><td colspan="3">〈該当項目なし〉</td></tr></table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	〈該当項目なし〉		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子														
ベルモスジル	ロスバスタチンとベルモスジルの併用したとき、ロスバスタチンのAUC _{0-last} が4.62倍、C _{max} が3.59倍上昇したとの報告がある ³⁾ 。	ベルモスジルのBCRP及びOATP1B1阻害作用により、ロスバスタチンの血中濃度が上昇する可能性 ³⁾ がある。														
モメロチニブ	ロスバスタチンとモメロチニブの併用したとき、ロスバスタチンのAUC _{inf} が2.7倍、C _{max} が3.2倍上昇したとの報告がある ⁴⁾ 。	モメロチニブのBCRP阻害作用により、ロスバスタチンの血中濃度が上昇する可能性 ⁴⁾ がある。														
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子														
〈該当項目なし〉																
23. 主要文献 3)Schueller, O. et al. : J. Clin. Pharmacol., 2025 ; 65 : 1026-1038 4)Ho, Y. L. et al. : Clin. Transl. Sci., 2024 ; 17 : e13799	23. 主要文献 〈該当項目なし〉															

2. 改訂理由

自主改訂

同一成分含有製剤との記載の整合性をとるため、改訂致しました。

改訂後の電子添文につきましては、医薬品医療機器総合機構ホームページ(<https://www.pmda.go.jp>)および弊社の医療関係者向け総合情報サイト(<https://med.sawai.co.jp>)に掲載しております。

エゼロス配合錠 LD/HD「サワイ」



(01)14987080011719